

平成25年度「確かな学力の伸長を図る調査」の  
分析に基づく授業改善推進プラン

東久留米市立 南中学校

( 1 ) 学年 ( 国語 ) 科

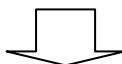
1 「確かな学力の伸長を図る調査」の分析結果

**これまでの指導の成果**

- ・国語に対する関心・意欲は高く、意欲的に取り組んでいる。
- ・話す能力、聞く能力の得点率は高く、これからますますの伸長に期待がもてる。
- ・読む能力についての得点率は平均をわずかに上回り、文章を読み進める基礎的な力は備わっている。

**課題**

- ・語句の構成を理解する力が弱い。漢字に対する苦手意識が強く、定着率も低い。
- ・因果関係の把握能力が十分でなく、心情の起因を探せないことがある。
- ・書く事柄や組み立てを考えて書くことが苦手である。



2 課題解決に向けた具対策について

**個に応じた指導について(補充的な学習及び発展的な学習の推進に向けて)**

補充的な学習	発展的な学習
<ul style="list-style-type: none"><li>・朝の10分間学習による復習を行う。</li><li>・登場人物の言動を、順を追って確認させる。</li><li>・毎授業の漢字小テストを実施して、形式を定め復習をさせることで、基礎的な語彙・漢字の定着を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・可能な限り、毎時間、自分の意見を表現する時間を設ける。</li><li>・学習プリントを用いて、文章の構成を組み立ててから、清書に進む。その際、一文の主・述の関係が一致しているかを必ず見直しさせる。</li></ul>

**その他**

- ・聞き取りテストを定期的実施し、メモをとる力の育成にあてる。
- ・全校一斉漢字テストを実施し、漢字学習に対する意欲を高め、語彙の定着を図る。

※ 各校授業改善推進プランを作成に当たって、国語と算数・数学は、このプロットを付け足してください。

※ 今までの各校独自のプロットは、このあとに付けるようお願いいたします